

石砂山（南東尾根―北尾根）

山行日 12月8日（日）天気：晴れ

参加者 3名

記：SF

コース 戸塚駅（6：30）―登山口（8：00）―石砂山（11：10）―
昼食（30）―石砂山西峰（11：55）―川上ドッケ（12：30）―
篠原バス停（13：45）―牧馬峠（14：10）―登山口（14：40）―
戸塚駅（16：30）

今年の3月に石砂山に行ったときに、北尾根のルートが気になっていたのですが、今回出かけた、コースの情報を探している時に、南東尾根の情報もあったので、一緒に行く様に計画をした、南東尾根の入口が、以前に使用していた、滝へのルートですが、現在は通行禁止の看板があるが、最初の部分は草で道が見えない状態ですが、先へ進むと、コンクリートの道で、川までの道となる、川の合流点には滝への標識があった、その先へ進むと橋があり川向こうの碎石場に続く、ネットの情報では橋の手前の階段を河原に降り、反対側の斜面を登るとあったが、その場所は急な斜面で、登る事が出来ないと判断し、先ほどの滝への看板より、河原におり、浅瀬を渡ると、作業道がありそこから、登山を開始した、最初は人口林の急な九十九折をのぼり、尾根まで上がると自然林となり、県境杭の監視道となり、歩きやすい道になる、その先は多少のアップダウンを繰り返す、次のピークでコンパスでは、正面となっているのが、藪の為右側に整備された道があったので、途中で左に入る道があると思い下っていったが、誤りに気づきピークに戻り再度ルートをさがした、正面の藪を進むと、その先にルートが見つかった、1回目のルート探しです、次のポイント P401 手前のピークで、右側の尾根に入り、コース間違いに築きピークの戻り、ルートをさがした、この場所も倒木によりコースが塞がれていて、倒木の間をルートを見つけた、2回目のルート探しです、その後401ポイントを通し東電巡視路に合流しその後は踏み跡もあり順調に進んだ、山頂の近くは、かなりの急な登りになり、立木を手掛かりに登る直登のルートになります。途中トラバースで迂回するルートも、道幅が狭く崩れそうな場所もあり、通過に注意が必要、急登が終わると、石砂山山頂に着きます、この季節なので山頂には、1名の登山者がいました、ベンチがあり、昼食タイムをゆっくりと取った、昼食タイム中に親子連れの4名の登山者が到着した、昼食後は山頂より伏馬田登山口側の急な階段を下りきった場所に標識がありその場所を直進し、石砂山西陵へ向かい尾根を登って行く、登りきった場所が南陵で立木に標識があった、ここからは尾根を下る為、コース間違いをしない様に慎重の下り始めた、川上ドッケまでの間は、急な下りでザレタ場所もあり、通過に時間が掛かった、川上ドッケには、祠、標識があった、ここからは人口林の道にかわる、その後途中で右に入る尾根分岐があったが、見逃した為、急な人口林を沢までおり、その後正面の山に登り返す事となった、今日3回名のルート探しとなった、登りきった場所に尾根があり本来のコースに合流出来た、その後篠原バス停に向かい下っていった、コースは途中より不明瞭となるが、下に民家が見えるので、それを目安のくだった、下り切った場所には、小川があり水が少ないので、問題なく渡渉しバス停方面に歩く、その後国道を車の場所まで牧馬峠を越え約1時間歩き、車の場所に到着した、今回のコースは標高は500m位の場所ですが、普段のバリエーションより、リボン等の目印が少なく、ルート間違いを、起こしやすいルートです。



路肩の広い場所を見つけ駐車した



この通行止め標識が登山口です



NET の情報ではここを渡り登るとなっていたが無理なので、別の場所より入った



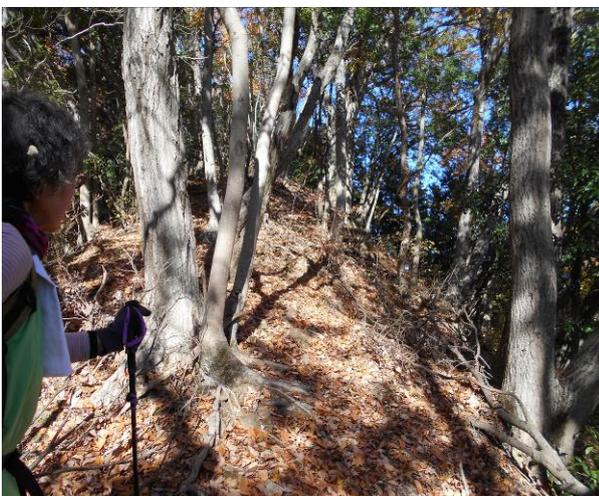
尾根に上がると自然林で広い道になる



この場所でルートを探す 正面の藪がルートになる



急な斜面をトラバース、道は狭く右側が崖で、少しザレぎみ 慎重に通過



この急斜面の尾根がルート



少し緩やかで広い尾根 紅葉綺麗



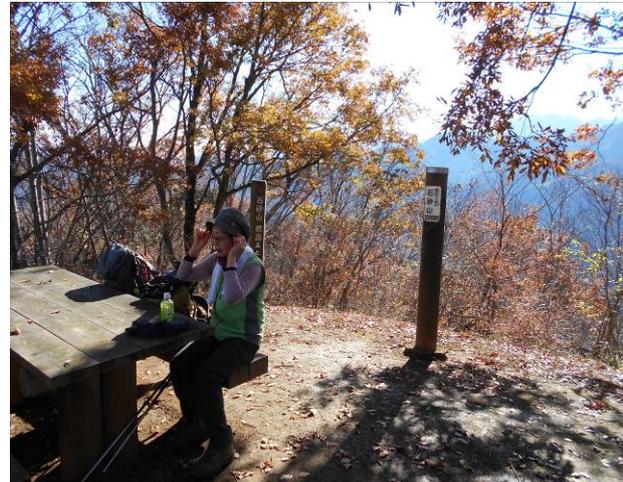
この場所は急斜面で立木に捕まり登る



こんな感じの尾根が70m続く



斜面の途中で一休み



石砂山 山頂に到着
ここで昼食タイム



伏馬田入口方面に下る



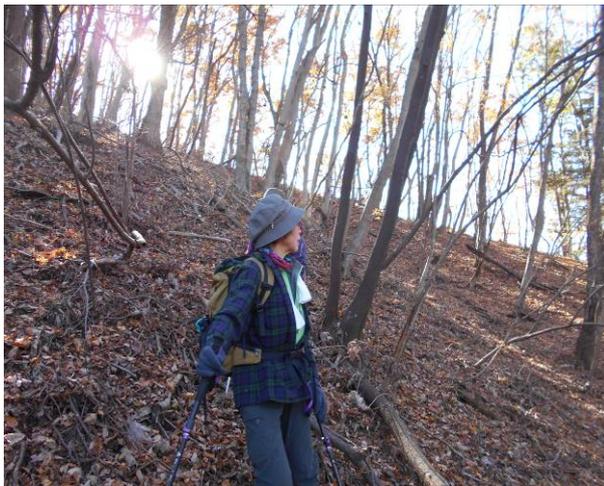
正面が北尾根入り口



石砂山 西峰 山頂



石砂山 記念写真



西峰よりの下り広い尾根、ルートに注意



倒木でルートが塞がれている



川上ドッケ 祠がある



立木への標識
あまり人が入らないルートですが標識はある



ここから人口林の急な下りになる



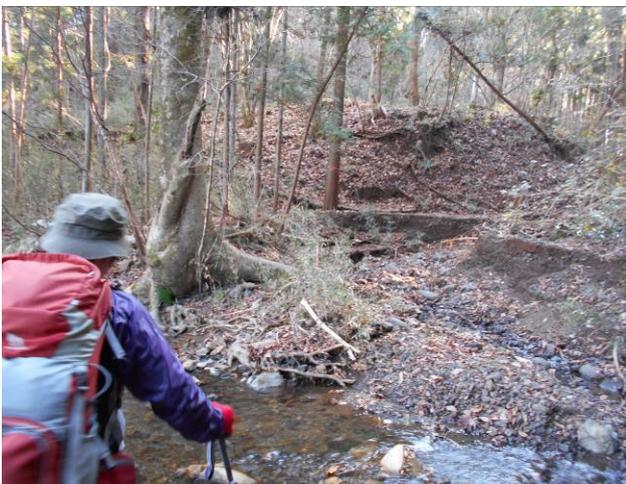
本来左上に見える尾根がルートですが
通り過ぎた為 沢まで下った



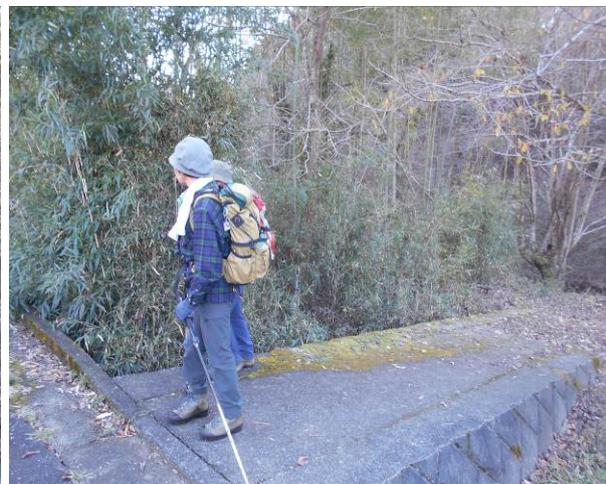
沢から登り返し尾根道に合流



登りきった場所には森林の標識がある



最後の川を渡った後 正面が登山口



舗装道路に後少しで篠原バス停に到着



国道を歩きながら 大きなさざんかの木が



楓の紅葉が淡い

今回のルートは、地図読み、GPS 等を使用しルートを探しながらのルートですので
安易には入らない方が良いでしょう。